

# 発言通告書（質問）

次のとおり、①一般質問 2. 施政方針に対する質問 3. 緊急質問)の通告をいたします。

平成 20年 2月 25日

富士市議会議長様

富士市議会議員 小池 智明 印

受付 No. ....

平成 年 月 日

午(前・後) 時 分

受理者

( 小池智明議員 2 -1 )

発言項目	新富士駅北口を拠点としたコンベンション（各種会議・見本市・大会等）振興への取り組みについて	
	要 旨（具体的に記入してください）	答弁を求める者
	<p>本市の今後の観光交流への取り組み方針を示した「富士市観光交流まちづくり計画」では、今後の観光交流の柱として「コンベンション振興」を位置づけている。</p> <p>コンベンションは、各種企業や団体の会議、学会、見本市、スポーツ大会等のことであり、その開催に伴う宿泊、交通、飲食、アフターコンベンションと言われる大会後の周辺観光などによる直接的な消費効果に加え、コンベンションを通じたその地域からの情報発信効果など、裾野が広く、さまざまな産業への波及効果が高いとされている。</p> <p>そうした中で、本年4月からは、これからの富土地域の観光交流を牽引し、その取り組みの柱の一つに「コンベンション」を明確に位置づけた「富士山観光交流ビューロー」が設立・稼動するとともに、見本市等のコンベンションの受け皿となる富士市産業交流展示場「ふじさんめっせ」がオープンする。</p> <p>これをきっかけに、本市、あるいは富土地域へのコンベンション誘致に積極的に取り組み、効果をあげていくことが期待される。</p> <p>一方、新幹線新富士駅は、今月開設 20 周年を迎える。しかし、駅の北口一帯は、北口としてだけでなく、広く今後の富土地域の玄関口としての役割が期待されている中で、今だ基盤整備、更には都市機能の集積に向けた方向性が見出せないのが実情と思われる。</p> <p>こうした動きの中で、以下の3点について質問する。</p>	市長及び担当部長

<ol style="list-style-type: none"><li>1 新富士駅北口一帯、いわゆるB地区の目指す姿と整備の進捗状況及び今後解決しなければならないと考える課題は何か</li> <li>2 地元企業等の営業力・技術力をアップするために、「ふじさんめっせ」を有効活用したコンベンションをどう展開するか</li> <li>3 都市の玄関に位置し、コンベンションを支える上で重要なレセプション（宴会）機能等を有するシティホテルや、宿泊滞在を支える既存ホテル等の宿泊機能の充実をどう誘導していくか</li></ol>	<p>市長及び担当部長</p>
--	-----------------

発言項目	ウォーキング促進への取り組みについて	
	要 旨 (具体的に記入してください)	答弁を求める者
	<p>平成 20 年度から、国民健康保険で特定健康診査・特定保健指導が始まるなど、生活習慣病対策をはじめとする健康づくりは、医療費削減の面からも重要な課題である。</p> <p>そうした中で、健康づくりの基本として、以前からウォーキングの有効性が言われている。</p> <p>本市では、教育委員会が中心となり、各公民館を拠点としながら、地域の史跡などをウォーキングで廻る「歩く健康づくり一万歩コース」を設定している。</p> <p>どのコースでもウォーキングをする人が多く、改めて健康づくりの基本として、誰もができる歩くことの重要性を感じる。</p> <p>また、健康づくりだけでなく、地域の皆さんが、それぞれの地域を歩くことによる近所の方々との交流や、ウォーキングの際の地域の皆さんの目配りによる防犯効果など、さまざまな地域力の向上につながることを期待される。</p> <p>一方、旧東海道などでは、リュックを背負った東海道ウォーカーの方々とはすれ違うことも多く、観光交流の面でも、自分の足で歩いて巡るウォーキングが、大きな流れとなっている。</p> <p>例えば、JRが主催し、鉄道駅を基点に、季節の見所を歩いて巡る「JRウォーキング」は人気が高く、どのコースも毎回 1,000 人以上の方が参加し賑わっている。</p> <p>こうした中で、以下の点について質問する。</p> <p>(1) 身近な散歩・ウォーキングの促進策として、</p> <p>①町内会を基本単位とし、いつでも、気軽に歩けるコースの設定を支援・促進すべきではないか</p> <p>②歩いた歩数・距離や減った体重・ウエストによって、さまざまなポイントがたまる「富士市版ウォーキングマイレージ」に取り組んではどうか</p> <p>(2) 観光交流ルートとしてのウォーキングルート開発にどう取り組んでいくか</p>	市長及び担当部長